

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局 名	関 東 農 政 局
-----	-----------

都道府県名	山梨県	関係市町村名	こうしゅうし えんざんし かつぬまちょう 甲州市 (旧塩山市、旧勝沼町)
事業名	田園空間整備事業	地区名	えんざんかつぬま 塩山勝沼
事業主体名	山梨県	事業完了年度	平成17年度

〔事業内容〕

事業目的：本地区は戦国時代から交通の要所として栄え多くの史跡が残っていると同時に、稲作のほかに養蚕及び果樹栽培が発展し、数多くの農業に関する施設が存在している。

一方、地域の発展を支えてきた農業関係施設は老朽化が激しく、また、施設へのアクセスが悪いことから住民や来訪者にあまり知られていないのが現状である。

このため、広域で連携して本事業を実施することにより、広がり的魅力ある「田園空間博物館」の取組を進めるために農村空間の整備を行い、首都圏との交流の拡大による新しい交流型農業を展開して地域の活性化を図る。

計画区域面積：22,128ha

総人口：36,779人（うち農家人口：14,664人）

農家戸数：3,569戸

主要工事：集落道整備 0.4km、水辺環境整備 0.2km、コミュニティ施設整備 2箇所、景観保全整備（歴史的建造物の修復・保全）3箇所、景観保全整備（案内板、道標設置）1式、遊歩道整備 3.0km、特認施設 1箇所

総事業費：1,153百万円

工期：平成12年度～平成17年度

関連事業：田園空間型グリーンツーリズム整備事業（平成10年度）

〔項目〕

ア 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化
該当なし

イ 事業効果の発現状況

1 事業の目的に関する事項

- 歴史的な農業関係施設の修復を図るとともに、遊歩道の整備と案内板の設置により、本地区の農村景観と数多く残る史跡や農業関係施設などが有機的に結ばれ、豊かな田園空間の創造に寄与するとともに、本地域を訪れる来訪者に効果的な情報発信ができるようになり、都市と農村の交流促進や地域活性化へ寄与している。

「本地区の来訪者数」（評価時点資料：山梨県観光客動態調査）

年 度	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21
来訪者数（千人）	2,168	2,215	2,693	2,378	2,310

「コミュニティ施設（繭集出荷所）の来訪者数」（評価時点資料：市聞き取り）

年 度	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
来訪者数（人）	999	1,083	2,003	3,104	2,437	2,304

- ・ 本地域の農業・産業の歴史上重要な施設の修復を行ったことにより、本地域の伝統文化の維持・保全が可能となった。
- ・ 繭集出荷所（旧田中銀行）の修復を行ったことにより、地域住民が「旧田中銀行友の会」を発足し維持管理や観光案内を行うなど、地域活性化が促進されるとともに、地域住民の文化財保存の意識向上も図られている。
- ・ 本事業を契機として、甲州市は平成17年9月26日に景観行政団体として山梨県から指定されており、地域住民の景観に対する意識の向上も図られている。

2 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認

【田園環境の再生・創造と共生・循環を活かした個性豊かで活力ある農村づくり】

地域の合意形成のもと、地域の伝統、文化、景観等の保全・復元等に係る整備を実施したことにより、自然や景観と農業生産が調和したゆとりある田園空間の創造が図られた。

3 その他

- ・ 本事業を機に、甲州市は地区内のウォーキング事業を展開している。平成19年度からは、地域住民により発足した「かつめまフットパスの会」と連携した「フットパス祭り・ガイドツアー」等を開催し、ウォーキングに合わせて地元食材を活用した飲食物の提供や農家との交流も行うなど、都市住民と地元農家との交流促進が図られている。
 なお、甲州市は平成20年3月に策定した「甲州市第一次総合計画」において、ウォーキングによる交流促進を同市における新たな観光特性として位置づけている。

ウ 事業により整備された施設の管理状況

- ・ 本事業により整備された各施設は甲州市により適正に維持管理されている。
- ・ 繭集出荷所（旧田中銀行）については、地域住民から構成される「旧田中銀行友の会」により、適切に維持管理が行われている。
- ・ 整備された遊歩道については、地元自治会等により花植え等が行われ良好な農村景観が維持されている。

エ 事業実施による環境の変化

1 生活環境

- ・ コミュニティ施設が整備されたことにより、地域住民が自発的に施設の維持・管理を行う組織をつくり、交流の場として利用されている。

2 自然環境

- ・ 農業用関係施設の保全・修復が行われ、農村景観の保全に寄与している。
- ・ 新たに整備された遊歩道について周辺景観との調和が図られており、美しい農村景観の創造に寄与している。

オ 社会経済情勢の変化

1 社会情勢の変化

- ・ 甲州市は平成17年11月1日、旧塩山市、勝沼町及び大和村が合併して発足した。甲州市の人口は事業実施前（平成7年 旧塩山市・勝沼町及び大和村の人口の総計）から、評価時点に比べて人口で10.7%、世帯数で0.3%と減少している。

【甲州市の人口・総世帯数】（資料：国勢調査）

	平成7年	平成17年	平成22年
総人口	38,046人	35,922人	33,947人
総世帯数	11,618世帯	11,666世帯	11,583世帯

2 地域農業の動向

- ・ 甲州市の農家戸数は、事業実施前（平成7年 旧塩山市・勝沼町及び大和村の農家戸数の総計）から、評価時点に比べて農家戸数が20.4%減少している。

【甲州市の農家戸数】

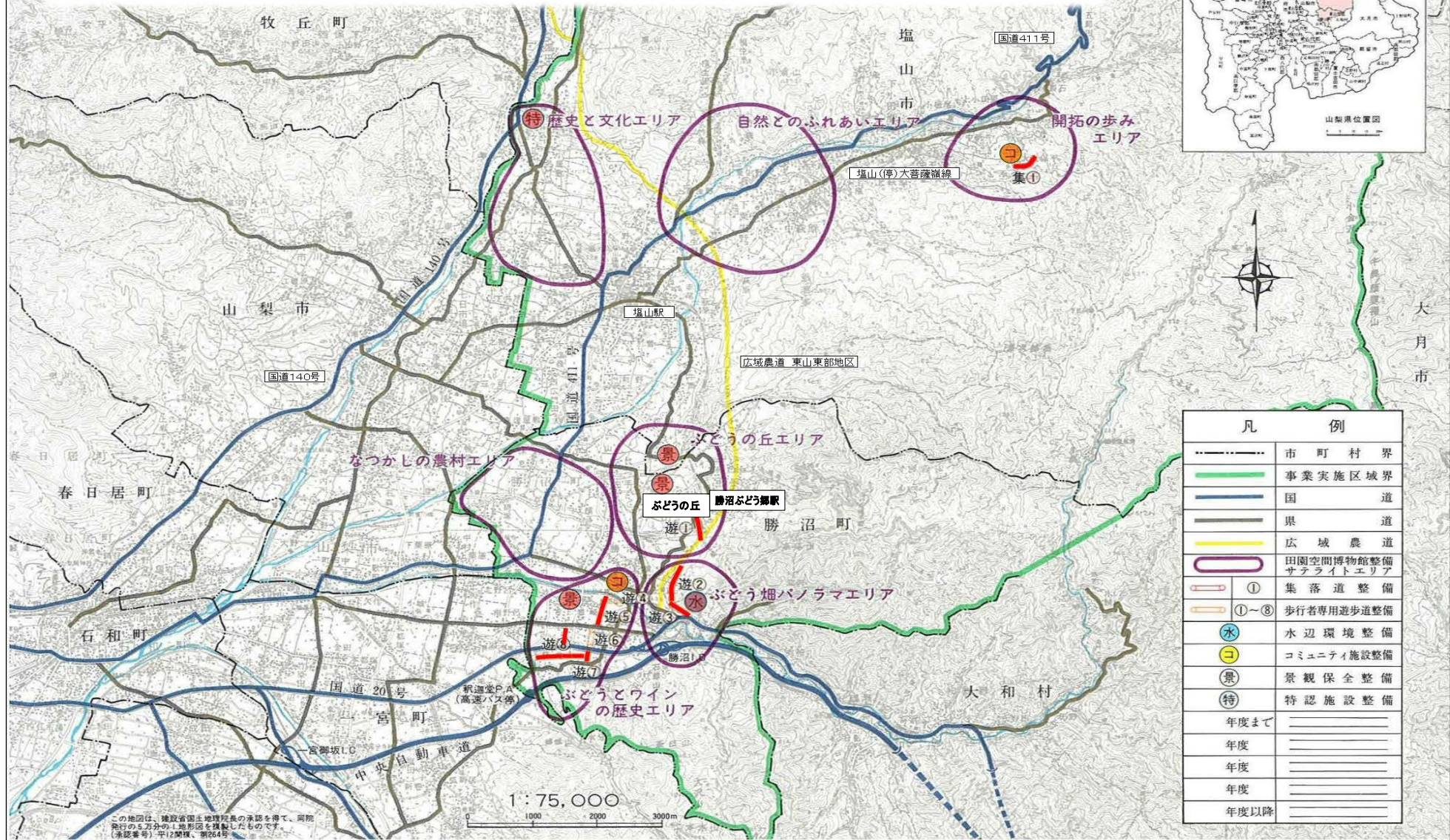
	平成7年	平成17年	平成22年（資料：農業センサス）
農家戸数	3,762戸	3,197戸	2,995戸

カ 今後の課題等

- ・ 本事業において、美しい農村景観の保全及び歴史的な農業施設や修復等を実施したことにより、農村の有する豊かな自然、伝統、文化等の多面的機能の増進に寄与し、また、都市と農村の交流や地域活性化にも資することができた。
- ・ 本地区における「田園空間博物館」の取組を今後更に発展させていくために、本事業で整備を行った各施設等の適切な維持・管理や地域住民が主体となった景観保全活動をとおして、本事業で整備された農村空間の維持・増進を図っていく必要がある。

事後評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の実施により「田園空間博物館」の取組が開始され、本地域の都市と農村の交流促進や地域活性化に寄与している。 ・ 歴史的な農業関係施設の修復により、本地域の伝統文化の維持保全、農村景観の保全に寄与している。 ・ 本事業を契機として、地域住民の文化財保存及び景観に対する意識の向上が図られている。 ・ 適切な維持管理や地域住民が主体となった景観保全活動をとおして、本事業で整備された農村空間の維持増進を図っていく必要がある。
第三者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施により、地域資源を活かした都市との交流による地域の活性化、伝統文化及び農村景観の維持保全が図られており、これからの農村地帯のあり方を考えていく上でも重要な取組事例となっている。 ・ 今後は、維持管理主体や地域住民が一体となった景観保全活動と一層の意識の向上により、本事業で整備した農村空間を維持増進していくことが望まれる。

田園空間整備事業 塩山勝沼地区 計画一般平面図



凡 例	
--- ---	市 町 村 界
—	事業実施区域界
—	国 道
—	県 道
—	広 域 農 道
○	田園空間博物館整備サテライトエリア
①	集 落 道 整 備
①~⑧	歩行者専用遊歩道整備
水	水 辺 環 境 整 備
コ	コ ミ ュ ニ テ イ 施 設 整 備
景	景 観 保 全 整 備
特	特 認 施 設 整 備
年度まで	_____
年度	_____
年度	_____
年度	_____
年度以降	_____

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、両院発行の五分の一地形図を複製したものです。(承認番号) 平12開復、第264号